

ことばプロジェクト

生きてはたらく
「ことばの力」と国語科

国語科で育てる「ことばの力」

「ことばの力」を高め、学力の向上、よりよい人間関係を築く力、主体的に学ぶ力を育てていくため、言葉の動きや言葉の仕組みなど言語の学習に視点を置いた授業の在り方を追究している。

人と人との関わりの中で、言葉を覚え、言葉を使って思考することを通し、語彙を増やし、「ことばの力」を高めることで、思考力・表現力が高まり、確かな学力として身に付いていく。

道徳では資料に対する感じ方や考え方を話し合いを通して深めていく。道徳の時間における言葉の役割は大きい。

特別活動では、「ことばの力」を活用し、豊かに伝え合う場を設定し、児童がよりよく関わることができるようにしている。



～国語科を中心に「ことばの力」を育てる～

国語科でめざす力

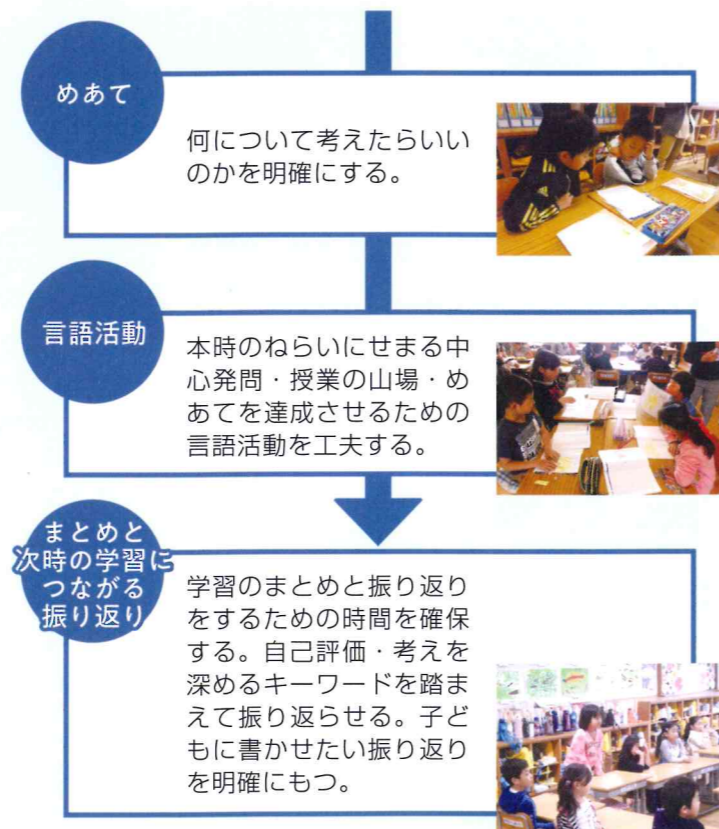
- 言葉を適切に表現し、正確に理解する能力
- 伝え合う力
- 豊かな言語感覚

単元構想

- ・単元全体で付けたい力(指導事項)を明確にした単元構成を考える。
- ・言語活動を工夫する。
- ・指導過程を工夫する。(学習課題と見通しの確認、単元のゴールの提示等)

1時間の授業の流れ

～「めあて」から「振り返り」まで一貫性をもたせた指導～



言葉の役割を踏まえた言語活動

言葉は論理や思考の基盤であるとともに、コミュニケーションや感性・情緒の基盤

1 事実を正確に理解し、他者に分かりやすく伝える。

- (1) 事実と意見や考えを明確に区別する。
 - ・ 5W1H、主語・述語、キーワードなど、どの点に着目するか視点を持ち、目的に応じて必要な情報を適切に取り出す。
- (2) 他者に的確に分かりやすく伝える。
 - ・ 自分や伝える相手の目的や意図をとらえ、事実を整理する。
 - ・ 構成や表現を工夫しながら伝える。

2 考えを伝え合い、自分の考えや集団の考えを発展させる。

- (1) 説明することにより自分の考えを深める。
 - ・ 事実を知識や経験と結び付けて理解し、自分の考えをもつ。
 - ・ 自分の考えについて、意見と理由を明確に伝える。
- (2) 考えを伝えることで、自分の考えや集団の考えを深める。
 - ・ 考えを伝え合う中で、いろいろな意見や考え、その根拠の違いに気付く。
 - ・ それぞれの考えの同じところや違うところを整理し、考えを深める。

3 互いの存在について理解を深め、尊重する。

- (1) 思いや考えを表現するための語彙を豊かにし、表現力を身に付ける。
- (2) 相手の話をしっかり聞き、意見を受け止める。

4 感じたことを言葉にしたり、それらの言葉を交流したりする。

- (1) 様々な事象に触れたり、体験したりする。
- (2) 感情・情緒に関わる言葉を理解する。
- (3) 事象や体験について、より豊かな表現、より論理的で的確な表現を通して互いに交流する。

効果的な言語活動 ～本時のねらいにせまる～

◆ 学び合いの場の設定 ◆

ペア学習、グループ学習、学級全体

- ・ 自分の考えに自信をもつ場
- ・ 仲間の考えのよさに気付く場
- ・ 自分の考えを深める場
- ・ 自分の考えを明確にする場 (グループで話し合うことにより曖昧な自分の考えがはっきりする。)
- ・ 自分の考えの変容を自覚する場 (比べる中で考えが深まる。)

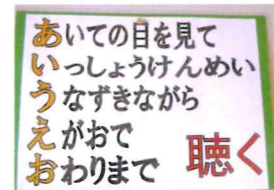
「発言をつなぐことば」を生かす



◆ 話す・聞く ◆ よい話し手・よい聞き手を育てる

「ひかり式ことばの力 ベーシック」

- ・ 文末まで言い終わりに話す。
- ・ 伝えたいことがよく分かるように理由や根拠を挙げながら話す。
- ・ 相手の意見を受け止めて、自分の立場や意見をはっきりさせて話す。



よい聞き手を育てることによって「話してもいいのだ」という安心感や「もっと話そう」とする意欲を生み出す

◆ 書く ◆ 考えを深める・まとめる

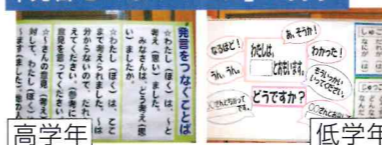
ノート・ワークシート

- ・ 自分の思いや考えを整理する。
- ・ 意見交流するための材料とする。
- ・ 1時間の学習を振り返り 自分の考えをまとめたり 次の学習課題を設定したりすることにつなげる。

振り返りの交流により更に自分の考えを深める

学習環境 ～さまざまな学びを授業に生かす～

「発言をつなぐことば」の掲示



自分の発言と友達の発言をつないだり、互いの考えを認め合ったりするための言葉の掲示

言葉クイズコーナー

文づくりコーナー



言語環境を整え、語彙の量を増やし、表現の質を高める。